

教育研究データ

1. 氏名	鈴木 秀規		
2. 生年月	1953年7月		
3. 取得学位	工学博士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2009年4月	①担当科目の生化学では,分子やその機能についてのイメージが描けるように視覚的な教材を作成した。授業毎に小テストを行ない,学生の弱点について解析し,次回に反映できるようにした。配布資料をサブノート形式のものとし,学生に質問しながら進める方式を採用することで,集中力を高める工夫した。	
	2010年4月	②オフィスアワーにおいて授業等の質問を受け付けている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等			
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
①アレルギー診断・治療の発展と展望-ホヤ喘息研究を通じて-	共著	2005年 10月	第55回日本アレルギー学会秋季学術大会発行
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
①Isolation and characterization of an asthma-inducing sea-squirt antigen.	共著	1984年 9月	J. Biochem. 96, 849-857.
②Human monoclonal antibodies to Pseudomonas aeruginosa produced by EBV-transformed cells.	共著	1987年 10月	Microbiology and Immunology 31(10), 959-966.
③Applying surface plasmon resonance sensor to monitor the IgE-mediated activation of human basophils.	共著	2008年 4月	Allergology International 57(4), 347-358.

④Hydrolyzed konjac glucomannan suppresses IgE production in mice B cells.	共著	2010年 2月	Int Arch Allergy Immunol. 152(2), 122-130.
⑤Mutations of optineurin in amyotrophic lateral sclerosis.	共著	2010年 5月	Nature 465, No.7295, 223-226.
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
①Fabrication of Amperometric Biosensor Based on Immuno-chromatographic Technique.	1999年10月		1999 Joint Meeting of Electrochemical Society of USA and Japan
②低分子化コンニャクグルコマンナンのIgE産生抑制作用	2005年10月		日本アレルギー学会 第55回学術大会
(4) 所属学会			
① 日本アレルギー学会			
② 日本生化学会			